

みんながみんなでみんなを！

アップデート

校長 佐藤 忍



今回は保護者の方向けの内容かもしれません。

先日、全体懇談会としてご参加いただいた保護者の皆様に、『教育の今、そしてこれから』についてお話をさせていただきました。まずはお越しいただいた方には感謝申し上げます。アンケートの自由記述欄には、「できないことを繰り返し強調されていたのは違和感を感じました。」といったご感想や「内容全て、私の頃とは様変わりしていてとても参考になりました。」というご感想、「学習指導要領など、これまでの認識と異なる点を改めて知ることができ、とても勉強になりました。」といったご感想、「今のいじめや不登校等に対する認識が変わってきており、子ども達と話をする際も、考えを改める必要があるな、と思いました。」といったご感想をいただきました。

私もこの懇談会の準備をするにあたり、様々な資料を読み返すことで、いままでの認識や保護者の皆様からのご感想をいただき、自分自身の「教職員像」や「学校とは」についての考え方をアップデートできる機会となりました。ありがとうございます。2月5日(木)に行われる新入生説明会後にもお話しする予定なので、お時間があればどうぞお越しください。また3学期ごろに案内いたします。

さて、今回は「アップデート」という言葉から始まりましたが、この言葉、日常では、主にソフトウェアやアプリの更新に関連して使われています。元々は、既存のソフトウェアの機能やセキュリティを改善したり、不具合を修正したりする時に使われ、新機能追加や既存機能の改良、パフォーマンスの最適化、セキュリティの強化、互換性の改善などを行うものです。アップデートを実行することにより、ユーザーがより優れた機能や安全性能を活用できるようになるものです。今は、それだけに限らず、様々な分野でも使用し、聞くことができる言葉です。

そんな「アップデート」について、エンジニアの友人から聞いた話が印象に残っています。そもそも、前述したソフトウェアの機能やセキュリティなどは、「今この瞬間は完璧に、として世に出すけれども、刻一刻と時間が過ぎていく中で、完全なものではなくなっていく。初めから完璧だ！とは思わず、修正を加え、改善していくことでよりよくしていく！ということ」を念頭に置き、作業していくのが俺の仕事やねん。」と。こちら、エンジニアの方すべてにお話をお伺いしたわけではありませんのでご了承ください。

そこで、生成AI「Copilot (コパイロット)」に1つの質問を。「現在は、人にとってどんな時代か？」。すると、こんな回答が。「こうした要素(4つの要素がありました)がスペースの関係で省略)を総合すると、変化と選択の時代とも言えます。技術・社会・環境の変化が速く、その中で個人や組織がどう選択するかが問われています。」と。ある研修では、今の社会を「不安定」とも表現していました。移り変わりが激しく、「変化しない」ということが難しい社会であるからでしょうか。

しかし、見方を変えれば、生徒の皆さんも、私たちも、「今のすべて」は「完璧ではない」ということを自覚してもいいのではないのでしょうか。したがって、謙虚にそれを受け止め、今後、変化し、修正していき、成長し、いいものや完璧に近づけていく、という考えを持つことができるのかもしれません。それぞれにできないことを、それぞれにできるようになるために、足りないことをお互い自覚して、お互いにアップデートを重ねていくということが必要なのでしょう。

全体懇談会でお話ししましたが、今の世の中の働き方は「3ステージ」から「マルチステージ」へと変化しているとお話ししました。皆さん、日々、どんなことをアップデートしていますか？



◆盛り上がりました！第54回体育祭◆

さわやかな秋晴れの下、10/24（金）に第54回体育祭が行われました。今年は縦割り団による取組みが2年目となり、昨年から実施していた「縦割り競技」だけではなく、初めての試みとして、各団による「縦割り競技前の30秒パフォーマンス」にも取り組みました。

バンブーフェスタや中間テストの後の短い期間でしたが、体育祭当日までの練習では、思いっきり大きな声を出したり必死でダンスの振付を覚えたり…それぞれの団の個性が出ていて面白かったですね。当日も団長やパフォーマンス長が中心となって、体育祭を盛り上げてくれました。学年を越えて、自分の団のメンバーを懸命に応援していた姿がとても印象的でした！

開会式・閉会式で挨拶をしてくれた生徒会執行部と、担当の先生からのメッセージです。

【生徒会長のコメント】

2学期最後の大きな学校行事である体育祭が終わりました。今年の体育祭は、各団のパフォーマンスや応援が特に印象的でした。パフォーマンスの披露に向けて、パフォーマンス長が決められ、本格的な練習が行われたこともあり、どの団もクオリティが格段に高かったと思います。競技にも応援にも全力で取り組めていて、本当に最高の体育祭でした。会場全体が熱気に包まれ、笑顔や声援があふれる一日となりました。今年の盛り上がり、これからも続いていくことを願っています。

（3-2 Kさん）

【生徒副会長のコメント】

皆さん、体育祭お疲れさまでした。

今回の体育祭は、2回目の縦割り形式で行われました。

2、3年生の皆さんは、去年の経験もあり、1年生を引っ張っていて、学校全体で盛り上がる事ができていたと思います。

閉会宣言でも言いましたが、今回の体育祭は、1年生の皆さんにとっては最初の、3年生の皆さんにとっては最後のものになります。望んだ結果になった人や、なかった人、さまざまな人がいると思います。しかし、クラスで団結し、より仲を深める事ができたのではないのでしょうか。

そして、体育祭が学校全体で行う最後の行事にもなります。来年からは2年生の皆さんが、この古江台中学校を引っ張って行ってください。

（3-1 Fさん）

【先生からのコメント】

縦割りにして2年目の体育祭。去年の3年生たちがやってきたことからしっかりと学び、自分たちのやりたいことを上手に表現した今年の3年生。どの団も声を出し、一生懸命応援していた姿がとても素晴らしかったです。

また、今年は練習したパフォーマンスを披露する時間を用意しました。団種目前に全員で気合を入れるあの時間は、各団の個性がとても大きく表れていました。もちろんパフォーマンスをしてみなさんも楽しかったと思いますが、見ている人も楽しませてくれました。ありがとう！

来年は2年生、再来年は1年生が団長として後輩を引っ張っていく番です。昨年度よりもグレードアップした体育祭を今年の3年生は見せてくれました。その姿を見た2年生は来年どんな体育祭を作り上げてくれるのか、そこにどう1年生が関わってくるのか・・・もうすでに楽しみです。古江台中学校の生徒のみなさんなら大丈夫。期待していますね！



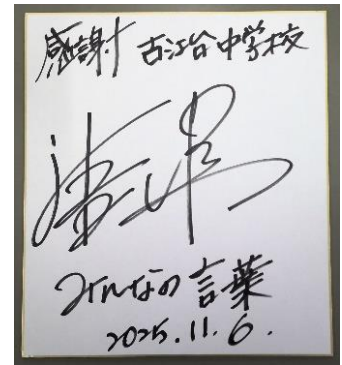
（体育祭担当 藤井大生先生）

◆「みんなの言葉」～清水健さん 人権講演会～◆

11/6（木）の午後には、年に1度の人権講演会として、フリーアナウンサーの清水健さんをお招きし、「大切な人の『想い』とともに、今できることがあるならば」というテーマでお話ししていただきました。

私たちが普段から周りの人に投げかける言葉一つひとつが持つ重み、“今”という時間の大切さ、そして大切な人を思う気持ちの尊さについて・・・ご自身がされた経験を通じて感じたことをたくさんお話ししていただきましたが、70分という時間があっという間に過ぎてしまいました。

最後には『がむしゃらに 無理せず 頑張る』というメッセージもいただきました。皆さんはどのように感じましたか？誰かが辛いときに「みんなの言葉」が周りの人を勇気づける温かい言葉になってほしいと願っています。



各種表彰

【水泳部】

三島地区中学校新人学年別大会

2年男子 100m 平泳ぎ	第2位
1年女子 100m 自由形	第2位
2年女子 100m バタフライ	第3位

【女子ソフトテニス部】

秋季吹田市長杯

個人戦	優勝	ペア
	第3位	ペア
	第3位	ペア

【男子バレーボール部】

秋季吹田市長杯 優勝

【陸上部】

秋季吹田市長杯

800m	第3位
110m YH	第3位
800m	第3位
100m	第2位
200m	第2位
4×100m リレー	第4位

【バドミントン】

吹田市中体連秋季大会

女子シングルス 準優勝

【子供・若者育成支援推進強調月間】

川柳の部	優秀作品
	入選作品

